

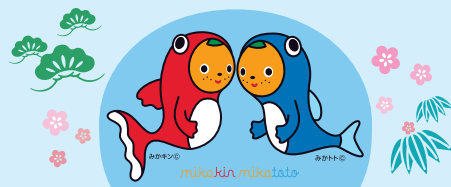
周防大島町 議会だより

2015・1
第40号

発行／周防大島町議会
〒742-2192
周防大島町大字小松126-2
TEL:0820-74-1003(議会事務局)
編集／議会広報編集特別委員会
印刷／(有)日良居タイムス

今回の主な内容

- 12月定例会 2P
- 請 願 3P
- 一般質問 4～5P
- 議員派遣予定 5P
- 調査研究報告 6P
- 編集後記 7P
- 新年の抱負 8P



謹賀新年



町民の皆さんに信頼される「開かれた議会」を目指して
住みよい町づくり活動を、本年も議員一丸となって進めて
参ります。

12月定例会

平成 26 年第 4 回定例会が、12 月 9 日から 17 日までの 9 日間の日程で開催された。

議会初日、議案の説明を受け、補正予算の審議、一般職の職員の給与に関する条例等の条例の一部改正等について審議・討論・採決し可決された。

最終日の 17 日には、一般質問、補正予算 10 件について討論・採決し可決された。また、議員発議「手話言語法」及び「青少年健全育成基本法」の制定を求める意見書も可決された。

主な議案等

・周防大島町役場の位置を定める条例改正について

健康増進課及び介護保険課を現在改修中の旧・日良居中学校へ移転し、日良居庁舎として平成 27 年 4 月 1 日から業務を開始する。



改修中の旧・日良居中学校

・「竜崎温泉潮風の湯」の指定管理者の指定について

指定管理者	指 定 期 間	指定管理料（3 年間）
（有）千 鳥	平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日	46,800,000 円

・公有水面の埋立ての免許

県道大島環状線、横見工区の道路整備で海岸の一部を埋め立て道路用地約 1,100 m²、防災施設約 3,100 m²を改良する。



竜 崎 温 泉

・町道路線の認定

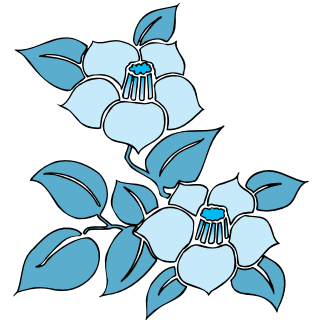
路線名	起 点	終 点	延長	幅員
油通北二線	小松北字八反田 281-2 地先	小松北字八反田 211-2 地先	166 m	5.5 m
安高屋敷線	東安下庄字屋敷 1470 地先	東安下庄字屋敷 10373-6 地先	139 m	4.7 m
平 尾 線	西安下庄字平尾上 2199-5 地先	西安下庄字立野 2088-3 地先	325 m	4.0 m

・人権擁護委員の推薦

田 村 敏 範 氏（周防大島町久賀）
（平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

11月臨時議会

- ・副議長の選出 松井 岑雄 議員
- ・工事請負契約 「竜崎温泉潮風の湯」機械設備改修工事
 - 契 約 額 68,580,000 円（消費税込）
 - 契 約 相 手 （株）三光電気工業所



新 議 会 構 成

議 会 運 営 委 員 会	委員長	平 川 敏 郎	田中隆太郎 荒川 政 義 魚 原 満 晴
	副委員長	広 田 清 晴	今 元 直 寛
地 域 活 性 化 特 別 委 員 会	委員長	今 元 直 寛	魚 谷 洋 一 広 田 清 晴 荒 川 政 義
	副委員長	平 野 和 生	濱 本 康 裕 新 山 玄 雄 小 田 貞 利
防 災 対 策 別 委 員 会	委員長	尾 元 武	平 川 敏 郎 田 中 隆 太 郎 中 本 博 明
	副委員長	吉 田 芳 春	魚 原 満 晴 松 井 岑 雄 久 保 雅 己
柳井地区広域消防組合議員	魚 谷 洋 一 吉 田 芳 春		
柳井地域広域水道企業団議員	中 本 博 明 平 野 和 生		

行政報告

大島幹部交番の 建替えについて

老朽化した旧大島警察署（大島幹部交番）の建設候補地は、久賀地区の大島防災センター西隣へ建設されることになった。

安心・安全の砦として地域住民の生命・財産を守る最重要機関であり、早期建設が望まれる。



大島幹部交番

請願審議

周防大島町議会議員政治 倫理条例について

★ 請願者 周防大島町久賀 小 原 勇 氏

★ 趣旨等

昨今、全国各地で自治体議員の不祥事や不透明な事実が明らかになるなど、議員の倫理が疑われているような状況が多発しており、国民の政治不信が高まるばかりであり、政治倫理の確立は国、地方を問わず喫緊の課題となっている。

近隣自治体に先駆けて本条例を制定することは、観光交流や定住促進に取り組む本町にとっても先進的で開かれた町をアピールできることになり、地域活性化にとっても有効な取り組みと考えらる。本条例が実効性のあるものとして早期に制定されるよう請願する。

★ 審査過程

不採択となったが、今後、政治倫理条例等に関する特別委員会を設置し、調査・研究・審議することになった。（請願とは、町政などについて町民の意思や要望を直接議会に伝える方法）

一 般 質 問

広 田 清 晴 議員

イノシシ対策の強化を求める！



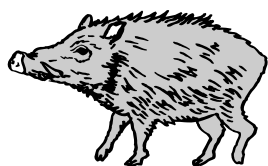
問 イノシシ対策の現状と来年度の取り組み。

答 昨年、1,290 頭の捕獲委託料 790 万円、防護補助金 680 万円いずれも今年度は増額の状況（捕獲 1,320 万円防護 1,230 万円）将来的

な捕獲者の確保育成のため狩猟免許の補助の継続、講習会等今後も継続してゆく。

人家の近くの発見については農林課に連絡頂ければ猟友会に頼みくくりわな等で対応してゆく。イノシシの相談窓口の設置については、今まで同様農林課でお願いしたい。

問 農業被害を抑える今後の補助対策は。



答 農作物被害を最小限に食いとめるには、面積・補助上限額の緩和策で対応したい。

問 全国の自治体病院は国の悪政のなか、運営が非常に厳しくなっている。医師・看護師と患者の信頼関係や、親切な対応が非常に大事。「赤字攻撃」克服のためにも、町立病院にふさわしい対応を求める。

答 各施設において意見箱の設置。公営企業局の広報の発行、研修会を通じて人材育成などを通じ、利用者家族の信頼を得るため、お客様に「親切な対応」が職員に徹底できるよう努力する。

特徴ある病院作りについては、核となる医師の確保が大事と考えている。

問 町からの繰入金を考えていくことが正常な公営企業局運営には必要。

答 公営企業局の努力ののち検討する。

平 野 和 生 議員

急がれる砂防ダムの建設！ 燃油高騰に対する対策の充実を！



問 平成 23 年～ 25 年の 3 年間で起きた東日本大震災を除く、我が国での主な災害を見ると、19 件死亡、行方不明者 550 余名、建物等の被害は 2,500 件にのぼっている。

そうした災害を未然に防ぐ為にも新たな砂防ダムの建設が必要と考える。

答 県では、土砂災害対策として砂防ダムなどの土砂災害防止施設の整備を着実に推進しているところであり、今後も過去に土砂災害が発生した箇所や災害時要援護者関連施設・避難施設が立地する箇所など、危険度や緊急性の高い箇所から重点的・計画的に対策を進める。

問 漁業者、暖房機器を使用する農家、土木建設業者等燃油高騰に対して影響をうけている。このままでは、本町は疲弊してしまう。その対策を問う。

答 燃油価格の高騰により、農・漁家の経営を圧迫していることは十分理解している。引き続き、国や県に補助事業を要望していく。

土木建設業者への影響については、町が発注する公共事業において、ガソリン・軽油等の価格は、積算時の価格に計上している。



日
前
郷
・
坂
本
の
砂
防
ダ
ム

尾 元 武 議員

地元循環経済の為更なる延長を！



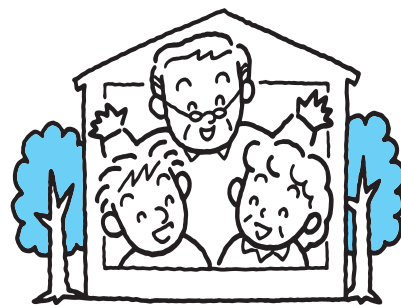
問「住宅リフォーム資金助成事業」は地域経済の活性化及び居住環境の向上を図ることを目的に平成23年度から3ヵ年実施し、本年度は、人口定住の促進を図る目的とし、空き家も対象として町外の方も申請ができる事業として延長。実際に住宅の改善を促進すると共に、地元業者の仕事づくりや地域経済の活性化にも繋がる。

昨今の経済状況の中、是非とも何らかの形で事業を継続してほしいと願う声は多い。経営状況が、若干なりとも上向いてくれば、税収増にも繋がる一挙両得とも言える制度。町長の見解を問う。

昨今の経済状況の中、是非とも何らかの形で事業を継続してほしいと願う声は多い。経営状況が、若干なりとも上向いてくれば、税収増にも繋がる一挙両得とも言える制度。町長の見解を問う。

答 地元業者や住民の方に大変好評の中、今年4月からの消費税引き上げに伴う個人消費の落ち込みによる地域経済の低迷も考慮し、1年延長してきた。

施工業者は、4年間で100法人及び個人事業主が、延べ977件事業を実施し、助成額は5,621万3千円、助成金対象工事費は併せて8億8,200万円にも達しており、事業とし、緊急的な経済対策とし一定の効果があつたと認識している。公平・公益性からもまた限定的な施策であり、財源も町単独予算であることから、今後については慎重に検討する。



議員派遣の予定

行 事 内 容	日 程	開催地	参 加 議 員
東京久賀倶楽部	平成27年1月17日	東 京	会員との情報交換（平川敏郎）
行 政 視 察	平成27年1月28・29日	沖 縄	米軍基地の現状、調査研究（全議員）
東京たちばな会	平成27年2月21日	東 京	会員との交流（魚原満晴、平野和生）
関西橘町人会	平成27年2月22日	大 阪	会員との意見交換（中本博明）

中 間 報 告

■岩国基地関連対策特別委員会■

委員長 荒 川 政 義

平成26年9月定例議会において「沖縄の基地負担軽減を図るための決議」を上程し、賛成多数で可決された。

8月・10月に政府に対して「国防と沖縄負担軽減を図る全国協議会」の設置について要望・陳情を行った。

調査研究報告

絵に描いた餅に終わらせないために

地域活性化特別委員会 委員長 今 元 直 寛

過去2年間の「地域活性化」に関しての調査研究を取りまとめ、行政に提言したその主なものを報告する。

まず『移住・定住の促進』に関して、若年層にとって最大の関心事の結婚・出産や育児等に係わる各種補助制度の充実と改革。また、移住希望者には、移住に関する様々な情報提供、相談を総合的にできる部局の新設。移住者及び町内に在住する若者の住居の建設、取得、改築等への思い切った助成事業創設。また、「この町で子供を育てたい」と思わせる教育環境の充実。

次に『地域産業の振興の取り組み』地域産業が諸問題を総合的に調査・検討するプロジェクトチームの設置。そして、新たな特産品の開発や多様な流通形態に対応した販売システムの構築。「道の駅」の特産品の販売環境の改善や、集客力を活用し、商業全体の嵩上げも必要であ

る。さらに「農地の貸し借り」には町の積極的な関与、支援を願いたい。

また、国の補助金を活用して起業する場合の申請書類作成の事務的支援窓口の設置等々の提言した。これらの提言が「絵に描いた餅」にならぬよう行政の思い切った、取組をお願いしたい。



調査研究報告

防災・減災に向けて

防災対策特別委員会 委員長 尾 元 武

近年の自然災害は甚大で局所的な被害が多い風水害と大規模な地震・津波被害が予測されている。これらの災害に備えるには日ごろからの準備が急務であり、「町内全域各地域でどのように取り組んで行けばよいのか調査研究を行い、住民の安心安全に資することを目的とする」について報告する。

委員会は、主に町内の自主防災組織への取り組み、現況の調査研究。平成24年12月末までの自主防災組織数は18団体であったが、現在は51団体。この2年間で33団体が認定を受けた。着実に防災に対する認識は高まっているが、地域によって温度差がある。

視察研修は、被災地における防災・減災対策の取り組み及び復興への取り組みについての調査研究を目的に、関西・九州の被災地を視察した。

「喉もと過ぎれば熱さを忘れる」あの甚大な被害をもたらした東日本大震災でさえ風化しつつあるのが現状。本町で申せば地震のみならず、高潮・局地的風水害は決して他人事ではない。自助・共助・公助への取り組み、また正しい確な情報を身につけ自主防災に役立てる地域づくりが必要要件である。



議会広報編集特別委員会 結果報告

前委員長 魚谷 洋一

平成24年12月に付託された「議会広報の編集・発行」について、結果を報告する。

【基本方針】

読みやすくわかりやすい広報誌であることを念頭に、文字の大きさや、レイアウト、わかりやすい表現をするなど、創刊以来の編集方針を継続してきた。町民の皆様へは、少しでも議会活動の一端をお知らせするよう委員一同心がけてきた。

【視察研修等】

視察研修：岡山県里庄町議会及び岡山市議会
NHK 放送センター

研修会：町村議会広報研修会（東京都）2回
町議会広報研修会（田布施町）2回

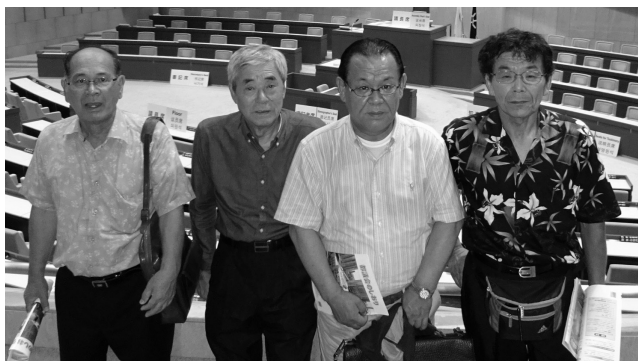
【発行回数・紙面構成等】

各定例会の報告を主なものとし、32回の編集委員会を開催し、第32号から第39号の8回発行（発行部数は、各10,600部）とした。

表紙には、その時折々の写真を、1枚ものや組み写真で構成し、掲載した写真に対し、読ま

れる方のそれぞれのご感想を持っていただけるよう努力した。紙面前半の部分は、定例会を中心とした各議案等の審議結果等を掲載し、紙面中程から後半にかけては、一般質問・各委員会報告・各視察研修報告、最終ページは、その他議員派遣等の構成とした。1ページの記事については横書き4段構成とした。

また、議会広報誌や議会の広報活動に親しく接してもらうことを旨に、周防大島町のマスコットキャラクター「みかキン・みかトト」の活用（表紙に掲載）・ケーブルテレビ周防大島チャンネルの活用（「議会広報誌発行のお知らせ」の放映、「みかキンちゃんの教えて議員さん」の放映）等親しみやすく取り入れた。



平成16年10月1日、大島郡の四町が合併し、「周防大島町」が誕生して早や10年が経った。今後、さらなる飛躍で輝く町へと発展することを願っている。

議会も町民のための政治、安全で安心して暮らせる生活環境を整えていくことが、大きな使命の一つである。

これまで同様に開かれた議会を目指し、編集委員一同、読みやすく分かりやすく親しみやすい議会広報をお届けする。

なお、今回から表紙のタイトルを、こちら「議会広報部」を周防大島町「議会だより」に変更した。今後ともよろしくお願い申し上げます。（吉田）



◆議会広報編集特別委員会◆

委員長 吉田芳春 副委員長 濱本康裕

平川敏郎・田中隆太郎・魚原満晴・今元直寛・松井岑雄



議会広報・議事録を「周防大島町ホームページ」で公開しています。

周防大島町ホームページ <http://www.town.suo-oshima.lg.jp>

なお、各図書館には議事録を備えています。

新年の抱負

新年議長挨拶



議長
久保雅己

周防大島町では、「元氣 にこにこ」安心で21紀にはばたく先進の島の実現に向けて「定住対策」「防災安全」「健康づくり」を重点課題として取り組んでおられることに敬意を表する。議会といたしましても、地域の活性化と防災対策に関し、特別委員会を設置して調査研究を行っている。町民の皆様が、安心安全に周防大島町で生活できるよう議会と執行部が力を合わせ、心を合わせ、様々な課題に取り組んでいる。町民の皆様におかれましては、本年がよき年となりますことを心よりご祈念申し上げます。



副議長
松井岑雄

「異体同心」の力を結集し、更なる周防大島町の安心、安全を



建設環境常任委員会

委員長 田中隆太郎 有言実行をモットーに議員活動をします。
副委員長 平野和生 地域の声を行政に届けていくよう精一杯がんばります。
委員 中本博明 今年もクリーンな政治と防犯・防災に全力を尽くします。
小田貞利 地域格差がなく、公平な行政サービスが受けられるよう努めます。
松井岑雄 上記



民生常任委員会

委員長 今元直寛 中途半端な取り組みでは町の活性化は不可。大胆な提言をしたい。
副委員長 広田清晴 基地原発消費税皆さんと一緒に住みよい町作りに全力で頑張ります。
委員 魚谷洋一 今年も全力でがんばります。
尾元 武 防災活動を基軸とし、真の安心安全の町に向かい、精進いたします。
吉田芳春 改革なくして町の発展はありません。町民の為に是非で頑張る。



総務文教常任委員会

委員長 魚谷満晴 合併10年の節目。周防大島町発展のため「粉骨碎身」頑張ります。
副委員長 濱本康裕 住みやすい町づくりのために努力していきます。
委員 平川敏郎 「支え合い」と「声かけ」で周防大島町の強いネットワーク作りを
荒川政義 活性化の第一歩は本町の知名度アップから。大島といえばみかん鍋
新山玄雄 地方創生を掛け声だけでなく、実のあるものにしましょう。
久保雅己 上記